

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

ビジネスデータサイエンス学部では、学位授与の方針に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力、主体的な態度を習得できるように、下記の点を踏まえて、共通教養科目、専門教育科目及びその他の必要な科目を体系的に学べる教育課程を編成します。

1 教育内容

1) 教養教育

- ア 現実のビジネスにおける課題解決力の基盤となる幅広い教養を身に付けるため、関西大学科目群、自己形成科目群、グローバル科目群等の科目を配置する。
- イ ビジネスの現場における実践的な外国語運用能力を身に付けるため、外国語科目を配置する。

2) 専門教育

専門教育科目は、ビジネス分野の専門的知識を修得するための「フィールド駆動型アプローチ科目」、データサイエンス分野の専門的知識を修得するための「データ駆動型アプローチ科目」、実データを用いてビジネス現場における課題の解決にチームで取り組む「アクティブラーニング科目」、各自の興味・関心に基づき実課題の解決に取り組みながら専門分野の学びを究める「実践研究科目」によって構成する。

- ア 「フィールド駆動型アプローチ科目」及び「データ駆動型アプローチ科目」では、ビジネス及びデータサイエンス各分野における汎用的な基礎理論や技術を獲得する「入門科目群」（1年次）、細分化された系統の中から科目を選択し、各分野における専門性を深める「基礎科目群」（1～2年次）「応用発展科目群」（2～4年次）を配置する。
- イ 理論や技術をビジネス現場の実課題に応用する経験から、課題解決や価値創出の能力を獲得するため、「アクティブラーニング科目」では、「基礎演習科目群」（1年次）「実体験科目群」（2～4年次）を、「実践研究科目」では「専門演習」（3年次）及び「卒業研究」（4年次）を配置する。

2 教育評価

- 1) 学期末試験またはそれに準ずる方法を通じて、知識・技能の修得状況を評価する。
- 2) 単位修得状況及び GPA などの指標をもとに、必要な知識・技能を十分に修得できていないと判定された学生には、勉学や履修のあり方について個別指導を行う。
- 3) 「アクティブラーニング科目」及び「実践研究科目」における必修科目をアセスメント科目として位置づけ、その単位の修得状況によって、学位授与に値する知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を有しているか総合的に評価する。